

## 守山市民交流センターの老朽化対策について

### 1 現状

市民交流センターは、昭和 58 年に建築された建物であり、随所に老朽化が進んでいる。2 階の文化交流スペースは主にサークル活動の拠点として、従来からのグループが定期的に利用している。1 階は事務所と市民活動スペースとなっているが、市民活動の拠点としての認知度は低く気軽に相談できる雰囲気づくりが必要という意見がある。

### 2 施設（ハード面）における課題等

- ・全体的に照明が暗く、施設を利用しにくい
- ・事務所窓口が狭く、カウンターも高いため、利用者が相談しにくい
- ・団体同士が交流する空間がないため、機運醸成につながらない
- ・通信環境が不安定である（快適な通信環境の確保）
- ・エレベーターがない、各所に段差がある（バリアフリー化出来ていない）
- ・防音対策が十分でないため音漏れがある
- ・建物（床・壁・天井・屋根など）の老朽化
- ・各種設備（高圧受電設備など）の老朽化

### 3 すでに改修済の設備

- ・トイレの洋式化（1、2 階）
- ・サロンルーム（トレーニング室をリニューアル）